

令和7年度第6回 企画提案型協働事業関連課チェックシート 資料15

令和7年度 企画提案型協働事業
関連課事前協議チェックシート（最終審査用）

提案者名：ベジガールズ 全世代に向けた運動支援

提案事業名：

関連課等名：保育幼稚園課

係等名：計画管理係

担当者名：稻富 俊輔

内線等：794

提案書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)既に実施、または類似の事業等について

1 既に実施している

2 類似の事業等を実施している

3 実施していない

(1または2の場合、その事業名や内容を記入)

令和6年度から市内公立園5園で年6回医療用バランスボールを使用した運動支援で効率的に体力、筋力をつけること、運動する楽しさ、呼吸や姿勢など身体の仕組みを学べることを目的として実施している。

令和5年度 保育園年長児に向けた運動支援「年長さん思い出プロジェクト」

令和6年度 年長さん思い出プロジェクト(身体の基盤づくり)

(2)実施効果について

1 大きな効果が見込める

2 効果はある

3 どちらかというと効果はない

4 ほとんど効果は見込めない

(具体的理由)

市立保育園では、保育の中で運動機能を向上させるためのさまざまなプログラムを実施しており、その1つとして今回の提案事業を実施することは、園児の運動機能向上に一定の効果はあると考える。

(3)実施計画、実施方法について

1 具体的であり、実現性・実行性は高い

2 実現性・実行性がある

3 実現性・実行性はあまり感じられない

4 実現性・実行性は感じられない

(具体的理由)

令和5年度から協働事業として事業を実施してきたことから、実現性や実効性は担保されていると考える。

(4)市が行う事業（委託事業等）としての妥当性について

- 1 市の事業として実施できる
- 2 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

(具体的理由)

(2)で述べた通り、市立保育園で運動機能向上のプログラムの一つとして取り組める事業であることから、市の事業として実施できると考える。

(5)事業費の積算について

- 1 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- 2 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

(具体的理由)

(6)提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

現在実施中の事業であるため、大きな問題はないと考えるが、園児の体幹機能の向上は本事業のみで達成されているわけではなく、その点においては市（保育園）と団体の間で意見の隔たりが多少あったと感じている。令和8年度の実施において回数は増やすが、理学療法士によるデータ測定は行わず、保育園での体力づくりの取り組みの一環として実施することで意見の隔たりが埋められたと考えている。

(7)総合的にみて、協働事業としての実施について

- 1 是非、取り組みたい
- 2 取り組むことは可能
- 3 どちらかというと取り組むべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

(具体的理由)

本事業のみで数値的な結果を求めるのはせず、楽しく運動するきっかけの提供や体力づくり、思い出作りという形で実施するが。実施に当たり、年3回から年6回にすることで、保育園での体力づくりの取り組みとの相乗効果をさらに高めることを期待している。

令和7年度 企画提案型協働事業
関連課事前協議チェックシート（最終審査用）

提案者名：NPO法人ハートフルコミュニケーション千葉エリア

提案事業名：虐待予防事業『子育てを学ぼう！乳幼児期から始める子どもの心のコーチング』

関連課等名：子ども家庭課

係等名：児童相談係

担当者名：小森谷

内線等：0476-33-4753

提案書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)既に実施、または類似の事業等について

① 既に実施している

② 類似の事業等を実施している

③ 実施していない

(1または2の場合、その事業名や内容を記入)

【事業名】

虐待予防事業「子育てを学ぼう！乳幼児期から始める子どもの心のコーチング」

【内容】

令和6年度から実施しており、令和7年度は、乳幼児期向け連続講座(全6回)(1回当たり2時間・定員10人・託児なし)及び学童期向け連続講座(全4回)(1回当たり2時間・定員20人)を各1回開催する予定である。

(2)実施効果について

① 大きな効果が見込める

② 効果はある

③ どちらかというと効果はない

④ ほとんど効果は見込めない

(具体的理由)

こどもとの関わり方や子育てに悩みや不安を抱えている保護者が、親子の関係性やこどもとの関わり方等の知識や方法を身につけることで、児童虐待の未然防止につながることが期待できるため、大きな効果が見込めると考える。

(3)実施計画、実施方法について

① 具体的であり、実現性・実行性は高い

② 実現性・実行性がある

③ 実現性・実行性はあまり感じられない

④ 実現性・実行性は感じられない

(具体的理由)

講座の目的や目標が明確であり、事業の内容も具体的であるため、実現性・実効性は高いと考える。

(4) 市が行う事業（委託事業等）としての妥当性について

- ① 市の事業として実施できる
- 2 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

(具体的理由)

既に市の事業として実施している。

(5) 事業費の積算について

- ① 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- 2 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

(具体的理由)

既に実施している事業と比較しても、妥当性があり、積算根拠もしっかりしていると考える。

(6) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

特になし。

(7) 総合的にみて、協働事業としての実施について

- ① 是非、取り組みたい
- 2 取り組むことは可能
- 3 どちらかというと取り組むべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

(具体的理由)

連続講座を通じて、同じ悩みや不安を抱える保護者同士が相互に悩みや不安を相談し、情報の交換ができる場を設けることで、親子間における適切な関係性の構築を図ることができ、児童虐待の未然防止につながることが期待できるため、是非、取り組みたいと考えている。

令和7年度 企画提案型協働事業
関連課事前協議チェックシート（最終審査用）

提案者名：NPO法人亀成川を愛する会

提案事業名：市民参加で守る別所谷津公園の谷津の生態系

関連課等名：都市整備課

係等名：管理係

担当者名：野村

内線等：743

提案書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)既に実施、または類似の事業等について

1 既に実施している _____
2 類似の事業等を実施している _____
3 実施していない

(1または2の場合、その事業名や内容を記入)

市民参加で守る別所谷津公園の谷津の生態系

(2)実施効果について

1 大きな効果が見込める
2 効果はある
3 どちらかというと効果はない
4 ほとんど効果は見込めない

(具体的理由)

谷津の生態系の保全を含めた、市民と協働した緑地等の維持管理の推進が期待できる。また、当該地域がOECM(Other Effective area-based Conservation Measures)認定されることで、生物多様性保全の評価につながる。

(3)実施計画、実施方法について

1 具体的であり、実現性・実行性は高い
2 実現性・実行性がある
3 実現性・実行性はあまり感じられない
4 実現性・実行性は感じられない

(具体的理由)

令和6年度より協働事業による調査・整備等を実施している。当該箇所については、印西市緑の基本計画及び印西市環境基本計画等の各種施策として位置づけられており、実現性及び実行性があるものと考える。

(4) 市が行う事業（委託事業等）としての妥当性について

- 1 市の事業として実施できる
- 2 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

(具体的理由)

令和6年度より協働事業による調査・整備等を実施している。当該箇所については、印西市緑の基本計画及び印西市環境基本計画等の各種施策として位置づけられており、谷津の生態系の保全を含めた緑地の維持管理等は、市が行う事業として妥当であると考える。

(5) 事業費の積算について

- 1 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- 2 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

(具体的理由)

(6) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

緑地の整備等を行う際には、緑地管理者である都市整備課へ事前に許可申請手続きを行う必要がある。

(7) 総合的にみて、協働事業としての実施について

- 1 是非、取り組みたい
- 2 取り組むことは可能
- 3 どちらかというと取り組むべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

(具体的理由)

ゲンジボタルやトンボなど、水辺の生き物の生息環境を保全しながら、観察等の場を形成し、緑の活動拠点として市民が安全、安心に活動できる環境づくりに取り組んでいきたい。

令和7年度 企画提案型協働事業
関連課事前協議チェックシート（最終審査用）

提案者名：NPO法人工コネクトちば

提案事業名：竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業

関連課等名：都市整備課

係等名：管理係

担当者名：野村

内線等：743

提案書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)既に実施、または類似の事業等について

1 既に実施している _____
2 類似の事業等を実施している _____
3 実施していない

(1または2の場合、その事業名や内容を記入)

竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業

(2)実施効果について

1 大きな効果が見込める
2 効果はある
3 どちらかというと効果はない
4 ほとんど効果は見込めない

(具体的理由)

四季の花が楽しめる花畠の整備や日々のごみ清掃、定期的な草刈りを年間を通じて実施することで、快適な景観の維持と環境を保全し、市民が憩える場が形成されている。
また、本事業を通じて地元の幼稚園や小中学校と協力した活動も行っており、地域のコミュニティ形成にも寄与している。

(3)実施計画、実施方法について

1 具体的であり、実現性・実行性は高い
2 実現性・実行性がある
3 実現性・実行性はあまり感じられない
4 実現性・実行性は感じられない

(具体的理由)

経費及び年間スケジュール共に具体的である。

(4)市が行う事業（委託事業等）としての妥当性について

- 1 市の事業として実施できる
- 2 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

(具体的理由)

平成21年度より協働事業による維持管理を実施している。長年の活動により当該地域は花の名所として市民の憩いの場となり、また、「コスモスふれあいまつり」の主催開催等により地域の活性化につながっているため、市が行う事業として妥当であるものと考える。

(5)事業費の積算について

- 1 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- 2 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

(具体的理由)

(6)提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

(7)総合的にみて、協働事業としての実施について

- 1 是非、取り組みたい
- 2 取り組むことは可能
- 3 どちらかというと取り組むべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

(具体的理由)

長年の活動により竹袋調整池は、印西市内においても有数の花の名所となっている。
また、日頃より施設の細かな点検も行っていただき、良好な生活環境が維持されている。
今後も、団体と連携を密にし、地域の意見を取り入れながらより多くの方が楽しめる環境づくりに取り組んでいきたい。

令和7年度 企画提案型協働事業
関連課事前協議チェックシート（最終審査用）

提案者名：みんなのいっぽ

提案事業名：グリーンカーテン大作戦！「CO2を減らそう！ストップ温暖化大作戦！」

関連課等名：環境保全課

係等名：保全係

担当者名：増田、劉

内線等：365

提案書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)既に実施、または類似の事業等について

1 既に実施している _____
2 類似の事業等を実施している _____
3 実施していない

(1または2の場合、その事業名や内容を記入)

企画提案型協働事業

グリーンカーテン大作戦！「CO2を減らそう！ストップ温暖化大作戦！」

(2)実施効果について

1 大きな効果が見込める
2 効果はある
3 どちらかというと効果はない
4 ほとんど効果は見込めない

(具体的理由)

地球温暖化対策の取組みとして、市内での環境イベント、公共施設や小学校において、グリーンカーテンの苗や種の配布を行うほか、グリーンカーテンの設置方法や効果について小学校の出前講座を実施するなど、本事業を通じて市民に対して地球温暖化対策について、意識啓発に努めることができる。
種の配布についても好評で、例年とても人気がある。

(3)実施計画、実施方法について

1 具体的であり、実現性・実行性は高い
2 実現性・実行性がある
3 実現性・実行性はあまり感じられない
4 実現性・実行性は感じられない

(具体的理由)

市と団体が連携及び調整を図りながら、市の主催イベント（環境フェスタ）や市内小学生に向けた出前講座の開催、公共施設へのグリーンカーテンの設置等を行うことにより、グリーンカーテンのPRと参加者の成功体験に寄与するなど計画的に、実現性の高い事業を実施することができる。

(4) 市が行う事業（委託事業等）としての妥当性について

- 1 市の事業として実施できる
- 2 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

(具体的理由)

本事業は印西市環境基本計画及びいんざいカーボンニュートラル・チャレンジ2050に記載のある施策や取組みと合致しており、効果が見込めることから、市が行う事業としては妥当である。

(5) 事業費の積算について

- 1 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- 2 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

(具体的理由)

過度に事業費が積算されていることもなく、事業費は広告宣伝費含め最低限の費用に抑えられており、事業の積算について妥当である。

(6) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

- ・公共施設での実施でも、施設ごとに設置可能な場所が異なり、生育条件の良い場所のみを選定して実施できない課題がある。
- ・グリーンカーテンの生育に関しても、密な状態まで生育するには相当な時間と手間をかける必要があり、苗の育成にあたって気軽に相談ができるなどのサポートを充実させる必要がある。
- ・人気があり種の配布がすぐ終了してしまうので、種の配布方法については検討したい。
- ・出前授業等を希望する学校を抽出し、効率的により多くの学校に対して事業を実施する必要がある。
- ・本事業を通じて多くの市民に脱炭素化への取り組みに対する意識の啓発を図ることが重要であり、今後も本事業の周知啓発を継続していくことが必要である。

(7) 総合的にみて、協働事業としての実施について

- 1 是非、取り組みたい
- 2 取り組むことは可能
- 3 どちらかというと取り組むべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

(具体的理由)

過年度に実施した事業の実績から、環境意識の啓発やグリーンカーテンの普及について、効果があることを実感している。グリーンカーテンのさらなる普及のため、同団体との協働事業を引き続き継続して取り組むことが可能である。

令和7年度 企画提案型協働事業
関連課事前協議チェックシート（最終審査用）

提案者名：一般社団法人SODO他

提案事業名：里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業

関連課等名：環境保全課

係等名：保全係

担当者名：浅井

内線等：366

提案書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)既に実施、または類似の事業等について

1 既に実施している _____
2 類似の事業等を実施している _____
3 実施していない _____

(1または2の場合、その事業名や内容を記入)

いんざい里山グリーンインフラ推進協議会を毎月開催している。

いんざい環境フェスタへの出展を行い市民への意識啓発、情報発信を行った。

(2)実施効果について

1 大きな効果が見込める
2 効果はある
3 どちらかというと効果はない
4 ほとんど効果は見込めない

(具体的理由)

里山の保全・活用に係る市内で活動する複数の市民活動団体間の連携の促進を図ることができ、これまでには各地域ごとに活動していた団体の市内全域における一体的な保全活動への取り組みが期待できる。

・里山保全及び活用の推進
・グリーンインフラの推進
・市民への意識啓発や情報発信

・生物多様性の保全
・里山の保全・活用に係る市民団体及び企業との連携促進

(3)実施計画、実施方法について

1 具体的であり、実現性・実行性は高い
2 実現性・実行性がある
3 実現性・実行性はあまり感じられない
4 実現性・実行性は感じられない

(具体的理由)

毎月のいんざい里山グリーンインフラ推進協議会の開催や里山保全団体交流会の開催、イベントでの広報、ホームページ公開など実現性・実効性はあると考えられる。

(4) 市が行う事業（委託事業等）としての妥当性について

- ① 市の事業として実施できる
- 2 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

(具体的理由)

本事業は印西市総合計画及び印西市環境基本計画、印西市緑の基本計画の施策(取組み)と合致していることから、市が行う事業としては妥当である。

(5) 事業費の積算について

- ① 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- 2 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

(具体的理由)

根拠もしっかりしており、事業の積算について妥当である。

(6) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

市内全域を対象とした里山の保全・活用をしていく上で、市所有地以外の民有地の里山については土地所有者からの理解や協力をいただくための合意形成を図る必要がある。

(7) 総合的にみて、協働事業としての実施について

- ① 是非、取り組みたい
- 2 取り組むことは可能
- 3 どちらかというと取り組むべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

(具体的理由)

印西市は総合計画において恵まれた自然環境を保全し豊かな自然環境が将来引き継がれるまちを目指し、市民の自然への関心を高め、自然保護に取り組む意識の醸成を図るとともに、自然の保護に取り組む市民(市民団体)や事業者(企業)などと連携を深め、保全活動の担い手の育成を図ることとしており、本事業の実施により自然の保護、保全体制の充実を図るための取組みとして大いに期待ができる。

令和7年度 企画提案型協働事業
関連課事前協議チェックシート（最終審査用）

提案者名：印西市市民公益活動団体Shake Hands

提案事業名：#私たちの保健室～みんなで繋がり合える印西市を目指して～

関連課等名：市民活動推進課

係等名：男女共同参画係

担当者名：千葉井

内線等：36-4174

提案書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)既に実施、または類似の事業等について

① 既に実施している

2 類似の事業等を実施している

3 実施していない

「男女共同参画推進事業 #私たちの保健室～みんなで繋がり合える印西市をめざして～」
(企画提案型協働事業)相手方:印西市市民公益活動団体Shake Hands

(1)小規模啓発事業

- 性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないための心と体を守る講演会
- 心と体を癒すアロマクリーム＆オリジナルナップキンBOX作り

(2)映画上映イベント

- 映画「生まれる」上映会

(3)大規模啓発事業

- フェムケアイベントの実施

(4)相談事業

- 「コットンカフェ」の実施

(2)実施効果について

1 大きな効果が見込める

2 効果はある

3 どちらかというと効果はない

4 ほとんど効果は見込めない

(具体的理由)

「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)」については認知普及活動に取り組んでほしいとの市民意見もある中、ご提案いただいた事業には、性に関する絵本の読み聞かせや生理用品のワークショップ、生理痛体験など、年齢性別を問わず参加できるイベントなどが盛り込まれており効果はあると考える。

(3)実施計画、実施方法について

1 具体的であり、実現性・実行性は高い

2 実現性・実行性がある

3 実現性・実行性はあまり感じられない

4 実現性・実行性は感じられない

(具体的理由)

ショッピングモールでの大型イベント及び相談事業「コットンカフェ」はすでに実施している事業であり、イベント内で実施するそれぞれの企画については詳細かつ具体的に示されている。

(4)市が行う事業（委託事業等）としての妥当性について

- ① 市の事業として実施できる
- 2 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

第4次印西市男女共同参画プランに位置付けられている取組に合致している。

(5)事業費の積算について

- ① 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- 2 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

事業費の積算根拠が示されており、金額も妥当であると考える。

(6)提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

大型イベントでは会場の確認や使用機材など綿密な打ち合わせを行う必要がある。

(7)総合的にみて、協働事業としての実施について

- ① 是非、取り組みたい
- 2 取り組むことは可能
- 3 どちらかというと取り組むべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

リプロダクティブ・ヘルス／ライツに関する意識の啓発については性別を問わず正しい情報提供を行う必要があるが内容が多岐にわたることから、市民活動団体の持つ知識や手法を活かした取組により効果的な意識啓発に繋がるものと考える。

事務連絡
令和7年9月12日

市民部市民活動推進課長様

企画財政部財政課長

令和7年度企画提案型協働事業の意見について（回答）

令和7年9月8日付け事務連絡で照会のあったことについて、下記のとおり回答します。

記

公費で負担すべき事業であるかを判断していただくことを前提に、各事業の共通意見として次のとおり回答します。

事業の提案内容に係る具体的な評価については、各関連部署の意見を尊重いたします。

企画提案型協働事業の財源については、市税等の自主財源で賄うことになりますが、歳入では、令和7年度の普通交付税算定において不交付団体となったこと、歳出では、社会保障関係経費や公共施設の維持管理費、物価上昇などに伴う経費の増加が見込まれることから、財政運営に必要な一般財源の確保が課題となっております。

つきましては、経常的経費の縮小に努め、コスト意識を持った事業提案をしていただきたいと考えています。

公開審査会（最終審査）に提出する提案事業については、担当課との協議・調整済みと認識しております。主となる担当課を明確にし、目的別予算を意識した予算計上をお願いいたします。

また、限られた財源の適正配分に努めるため、協働事業を実施する担当課においては、既存事業の見直しなど、予算の肥大化につながらないよう徹底していただきたい。このようなことからも、事業費については精査していただき、指定テーマの選考にあたっては、充分配慮していただきたいと考えています。

なお、各事業が採択された場合であっても、新年度の予算確保を確約できるものではありません。